

第25回 国賠ネットワーク交流集会

公権力の闇－特定秘密保護法と国賠裁判

1991年にスタートした国賠ネットワークは、毎年、国賠裁判を闘う個人・グループが集まって交流し、テーマを設けて学習する＜交流集会＞を重ねてきました。

今年のテーマは「情報公開と特定秘密保護法」。昨年12月、特定秘密保護法案は国会で強行採決されました。法案に反対するデモ、出版人、言論人、映画・演劇人など諸団体からも反対声明が挙がり、民主主義の危機として国家を二分するほどの反対運動の中、成立してしまいました。

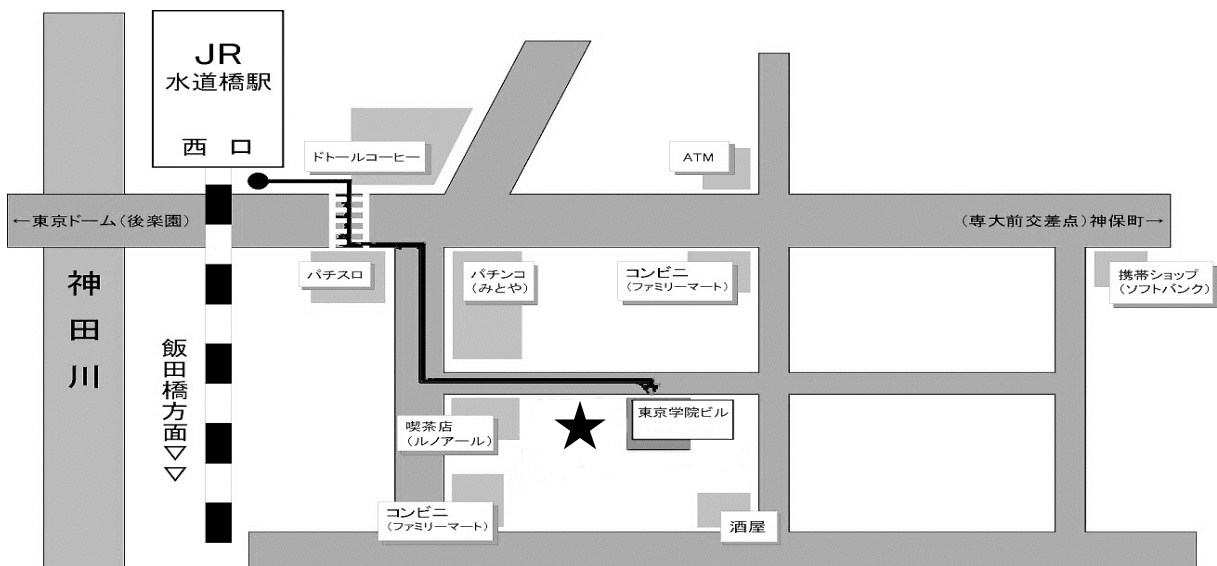
情報公開と秘密保護は裏表の関係にあります。違法な権力行使を糾す国賠において、公権力の懐ふかく隠された情報こそが、真実を明らかにします。この上、秘密がさらに強化されるなか、証拠が開示されないことによる不利益は計り知れないものがあります。富山(氷見)冤罪国賠裁判でも裁判と併行して情報公開の裁判が闘われていますが、その「公開度」の惨状は眼を覆うばかりです。

そうした危惧される現状に立ち向かい、法案の実質的な阻止に向けてどんな方途があるのか、清水雅彦さんをお迎えして、憲法学者のお立場から語って頂きたいと思います。奮って交流会に参加して下さい。

- '14 2月15日(土)
- 13:30～17:00
- 講演：清水雅彦さん
「情報公開と特定秘密保護法」
- 各国賠裁判報告 他
- 東京学院 1階会議室
- 参加費：500円(茶菓子付)

清水雅彦さん

1966年兵庫県生まれ。日本体育大学准教授。憲法学専攻。主たる研究テーマは平和主義・監視社会論。主な著書は「秘密保護法は何をねらうか」2013/12刊 高文研「治安政策としての安心・安全まちづくり—監視と管理の招牌」「平和と憲法の現在—軍事によらない平和の探求」(共編著)「平和への権利を世界に—国連宣言実現の動向と運動」



★ 東京学院 JR「水道橋」西口 徒歩2分 ・都営三田線 A2 出口 徒歩5分 ☎ 03-3261-7006